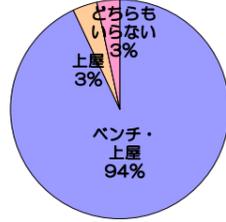


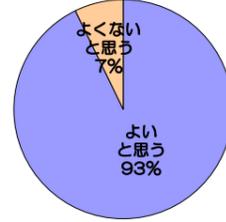
◆バス停の設置物

バス停の設置物については、「ベンチ・上屋」を希望される方が94%を占める結果となりました。



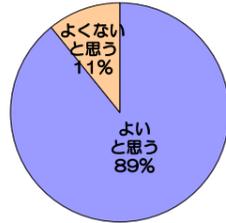
◆市道取付の設置位置

市道取付の設置位置については、個別には意見があったものの「よいと思う」と回答された方が93%を占める結果となりました。



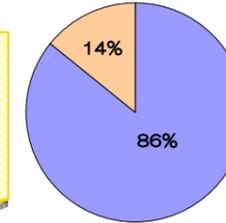
◆横断歩道の設置位置

横断歩道の設置位置については、個別には意見があったものの「よいと思う」と回答された方が89%を占める結果となりました。



◆交差点におけるUターン可否

交差点におけるUターンの可否については、個別には意見があったものの「出来た方がよいと思う」と回答された方が86%を占める結果となりました。



■交差点でUターンが出来た方がよいと思う
■交差点でUターンが出来なくてもよいと思う

■現地写真

平成23年3月末に、下記の3箇所です工事を実施しましたのでお知らせします。



【築堤モデル整備】



環境施設帯の築堤タイプを整備しました。街路樹や舗装材、遮音壁の設置状況などを体感できるようになりました。

【暫定2車線整備】



JR中央線連立事業と連携し用地確保できた将来の車道空間を利用して、約400m区間の暫定2車線整備を実施し交通開放しました。

【玉川上水橋梁整備】



玉川上水の新設橋梁が完成しました。昔の鉄道橋イメージを復元しながら、再び南北方向への行き来が可能となりました。名前は「いちょう橋」「ぎんなん橋」です。

お問い合わせは
東京都北多摩南部建設事務所 工事第一課
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1
電話 042-330-1861
ホームページ <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kitanan/>



平成23年4月発行

平成23年度
登録1号

調布保谷線(三鷹武蔵野区間)環境施設帯検討協議会 調布保谷線だより

第8号
平成23年4月

発行 東京都北多摩南部建設事務所 ☎042-330-1861
〒183-0006 東京都府中市緑町1-27-1

皆様には、日頃から東京都の道路行政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。東京都では、地域の皆様と検討を進めている内容を広く市民の皆様にもお知らせするために「調布保谷線だより」を発行しております。

なお、3月19日(土)に日本獣医生命科学大学において開催を予定しておりました全体説明会は、東北地方太平洋沖地震の発生に伴い、延期いたしました。開催日については現時点では未定ですが、日程等が決まりましたら改めて皆様へご連絡させていただきます。

合同地区検討会を開催しました

■合同地区検討会の概要

平成21年11月から順次「ブロック検討会」や「地区検討会」を開催して参りましたが、これまでに多くの方々にご出席頂き、貴重なご意見やご要望を伺うことができました。

このたび、地域別に開催いたしました検討会の結果をもとに、平成23年2月19日(土)及び3月5日(土)に境南コミュニティセンターにおいて、第1回及び第2回合同地区検討会を開催しました。

この合同地区検討会では、これまで地区検討会で検討した内容を「①統一しなくても良い項目(地域性を生かす項目)」と「②統一する項目(路線として統一する項目)」に分類し、確認または検討を行いました。

<検討内容一覧>

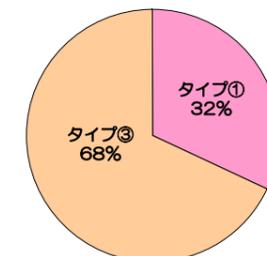
	統一しなくても良い項目(地域性を生かす項目)	統一する項目(路線として統一する項目)
第1回合同地区検討会 (H23. 2. 19(土)開催)	◆植栽帯の配置(歩行者・自転車の分離)の方法について(地域ごとの配置パターン) ◆樹種の基本的な配置について	◆主たる樹木の樹種選定について
第2回合同地区検討会 (H23. 3. 5(土)開催)	◆市道の取り付け方やUターン箇所について	◆遮音壁の設置の有無について ◆自転車歩行者道の舗装材について ◆バス停の上屋やベンチの設置について

■第1回合同地区検討会の結果

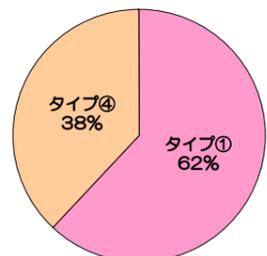
第1回合同地区検討会には50名の方に参加していただき、そのうち43名の方からご意見を伺うことができました。また、第1回合同地区検討会に参加頂けなかった方を対象として、その後補足調査を実施しました。その結果、99名の方からご意見が集まりました。以下に示す結果は、第1回合同地区検討会と補足調査の結果の合計値で集計しています。なお、各項目については結果を踏まえ、全体説明会において東京都案として説明いたします。

◆植栽帯の配置

植栽帯の配置については、これまでの検討会において希望の多かったタイプについて、緑地タイプでは「タイプ①」と「タイプ③」、副道タイプでは「タイプ①」と「タイプ④」のどちらを希望されるかを伺いました。その結果、緑地タイプでは「タイプ③」を希望される方が68%を占める結果となりました。一方、副道タイプでは「タイプ①」を希望される方が62%を占める結果となりました。



<緑地タイプ>



<副道タイプ>

※それぞれのタイプの平面図とイメージパースは、調布保谷線だより第7号に掲載しています。あわせてご確認ください。

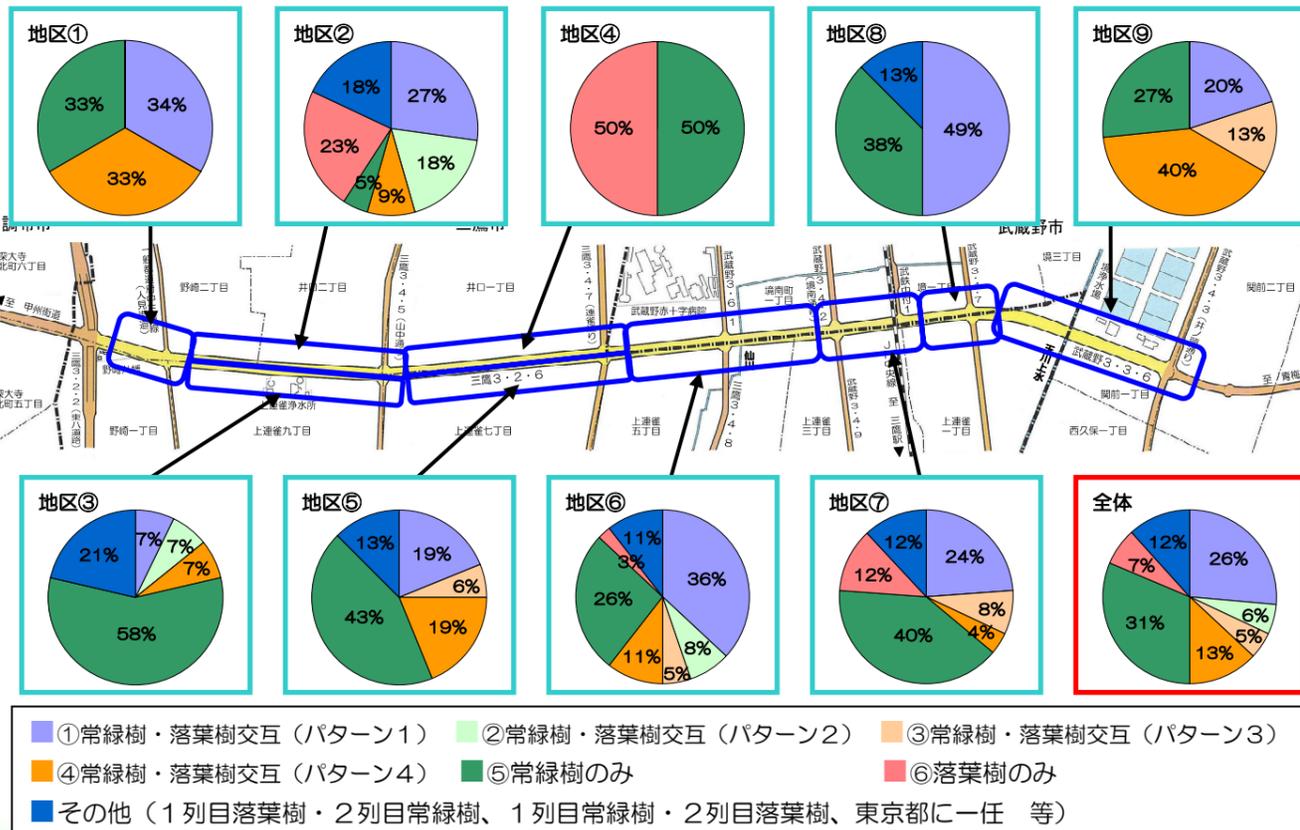
◆樹種の基本的な配置

樹種の基本的な配置については、高木・中木部分の植樹のバリエーションを6パターン提示し、どのパターンを希望されるかを伺いました。
その結果、地区ごとで傾向は異なるものの、「①常緑樹・落葉樹交互（パターン1）」と「⑤常緑樹のみ」が比較的多く選択されているという結果になりました。なお、この結果を踏まえ、隣接する地区や全体をみて検討し、全体説明会において東京都案を提示いたします。

◆高木・中木部分のバリエーション



※緑地タイプ3、副道タイプ4の場合を例として表現しています。
※緑地タイプ1、副道タイプ1の場合は2列目の植樹がなくなります。
※植樹の間隔は10~12mです。

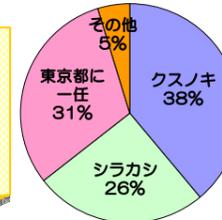


◆主たる樹木の樹種選定

主たる樹木の樹種選定については、昨年度・今年度の検討会で希望の多かった樹種を「高木（常緑樹）」「高木（落葉樹）」「中木」「低木」「地被類（雑草対策）」の5種類に分別して抽出し、その中から希望される樹種を伺いました。多く選択されているものは、高木（常緑樹）ではクスノキ、高木（落葉樹）ではハナミズキ、中木ではキンモクセイ、低木ではドウダンツツジとなりました。地被類（雑草対策）については、「植えてほしい」が半数以上を占めました。また、すべての項目において「東京都に一任」という意見も多く割で頂いています。なお、この結果を踏まえ、配置やバランスを考慮し、全体説明会において東京都案を提示いたします。

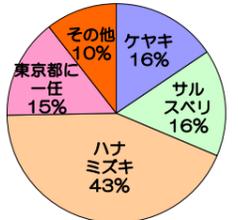
<高木（常緑樹）>

高木（常緑樹）については、「クスノキ」の希望が38%で最も多く、次いで「東京都に一任」が31%という結果になりました。



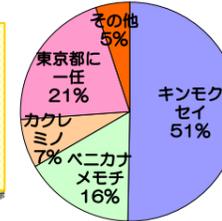
<高木（落葉樹）>

高木（落葉樹）については、「ハナミズキ」の希望が43%で最も多く、次いで「ケヤキ」と「サルスベリ」が共に16%という結果になりました。



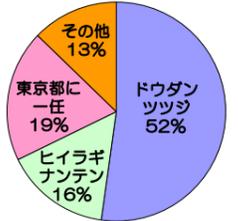
<中木>

中木については、「キンモクセイ」の希望が51%で半数以上を占め、次いで「東京都の一任」が21%という結果になりました。



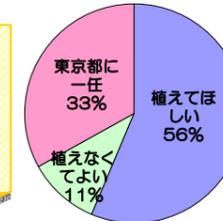
<低木>

低木については、「ドウダンツツジ」の希望が52%で半数以上を占め、次いで「東京都の一任」が19%という結果になりました。



<地被類（雑草対策）>

地被類（雑草対策）については、「植えてほしい」の希望が56%で半数以上を占め、次いで「東京都の一任」が33%という結果になりました。



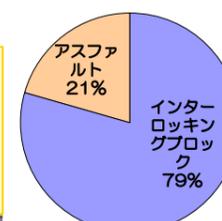
■第2回合同地区検討会の結果

第2回合同地区検討会には31名の方に参加していただき、そのうち29名の方からご意見を伺うことができました。

◆歩道・自転車通行帯の舗装材

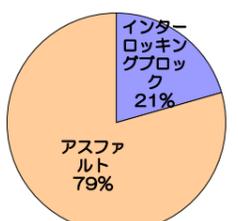
<歩道の舗装材>

歩道の舗装材については、「インターロッキングブロック」を希望される方が79%を占める結果となりました。



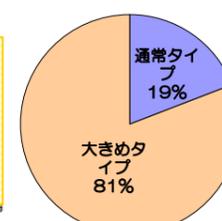
<自転車道の舗装材>

自転車道の舗装材については、「アスファルト」を希望される方が79%を占める結果となりました。



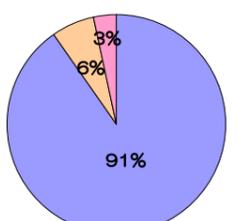
◆歩道のインターロッキングブロックの種類

歩道のインターロッキングの種類については、「大きめタイプ」を希望される方が81%を占める結果となりました。



◆遮音の方法

遮音の方法については、「遮音壁を設置しない（二層式低騒音舗装）」を希望される方が91%を占める結果となりました。



■ 遮音壁を設置しない（二層式低騒音舗装）
■ 遮音壁を設置する（メタル式遮音壁）
■ 遮音壁を設置する（アクリル式遮音壁）